

# 衆議院農林水産委員会ニュース

【第 213 回国会】令和 6 年 3 月 13 日（水）、第 2 回の委員会が開かれました。

## 1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・坂本農林水産大臣、武村農林水産副大臣、舞立農林水産大臣政務官、こやり国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）山口壯君（自民）、角田秀穂君（公明）、金子恵美君（立憲）、近藤和也君（立憲）、神谷裕君（立憲）、野間健君（立憲）、一谷勇一郎君（維教）、池畑浩太郎君（維教）、田村貴昭君（共産）、長友慎治君（国民）、北神圭朗君（有志）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 山口壯君（自民）

#### （1） 統計関係

- ア 農家戸数
- イ 農業就業人口
- ウ 平成 27（2015）年以降は調査していない項目がある事情
- エ 農業従事者に占める 65 歳以上の比率
- オ 耕作放棄地関係
  - a 耕作放棄地の面積
  - b 平成 27（2015）年以降は調査していない理由
- カ 荒廃農地の増減
- キ 専業農家戸数及び増減
- ク 主業経営体数が減少していることの確認

#### （2） 食料・農業・農村基本法改正関係

- ア 農業再生に向けた取組
- イ 耕作放棄地の増加等の解決可能性
- ウ 企業による農業参入関係
  - a 農地所有適格法人と一般企業の差異
  - b 新規参入に向けた取組
  - c 企業による農地所有の可否
  - d 企業による農地所有に制限を設ける理由
  - e リース方式による農地利用の問題点
- エ 意欲ある担い手による農地取得の現状及び今回の改正による対応
- オ 全国の農地情報を一元管理する組織の有無
- カ 担い手の育成政策についての具体策
- キ 農産物輸出関係
  - a 諸外国との経済連携に前向きに取り組む必要性
  - b 米の輸出額

#### （3） 間伐に対する支援を充実させる必要性

### 角田秀穂君（公明）

#### （1） 令和 6 年能登半島地震関係

- ア 被害把握の進捗状況及び今後の取組
- イ 支援措置の活用のために被災者への周知等に取り組む必要性

- (2) 食料安全保障の確保に向けた農業分野での国際協力の推進
- (3) 都市農業を守るための施策を充実させる必要性
- (4) 栄養バランスに関する食育の必要性
- (5) 食品ロス削減についての今後の取組

#### 金子恵美君（立憲）

- (1) 令和6年能登半島地震の被災者に対する農林水産大臣の思い
- (2) 東日本大震災関係
  - ア 帰宅困難区域等における営農再開の見通し
  - イ 避難指示があった地域における担い手の確保
- (3) ALPS処理水の海洋放出関係
  - ア 風評被害への対応
  - イ 漁業関係者の意見を踏まえた水産業支援の必要性
  - ウ 中国以外の輸出先を開拓する必要性
- (4) 食料・農業・農村基本法改正関係
  - ア 食料安全保障の定義、「良質」と「安全」の関係、「適正な価格」と「合理的な価格」の関係
  - イ 直接支払等で生産者を支援する必要性
  - ウ 持続可能な農業を守る必要性
  - エ みどりの食料システム戦略の具現化についての見解
  - オ 農福連携の推進の目的

#### 近藤和也君（立憲）

令和6年能登半島地震関係

- ア 創造的復興関係
  - a 創造的復興の意味
  - b 創造的復興と現状復旧との関係
  - c 現状復旧を超える施設整備を含めた創造的復興への支援の必要性
- イ 支援説明会関係
  - a 途中退出が多いことを踏まえた改善の必要性
  - b 途中退出の理由を把握する必要性
- ウ 水産関係
  - a 漁港の復旧の見通し
  - b 漁港の復旧に要する期間を示す必要性
  - c 警察の密漁対策
  - d 水産物の運送事業者への支援の必要性

#### 神谷裕君（立憲）

- (1) 食料・農業・農村基本法改正関係
  - ア 食料自給率の向上、農業者・農地の維持確保に対する効果
  - イ 25年後の農業、農村の姿
  - ウ 食料安全保障の更なる強化に向けた構造転換の意味
  - エ 食料の輸入を食料安全保障の重要な手段とすることについての所感
- (2) 農地所有適格法人関係

- ア 農業者の出資割合についての政策転換の理由及び農業者の理解
- イ 農業者の理解を得る必要性
- (3) 農業者に対して罰則を設けるのであれば公的な性格を認めて対価を支払う必要性
- (4) 林業における外国人材活用についての検討の背景
- (5) 漁船員の確保についての見解

#### 野間健君（立憲）

- (1) 認定農業者以外の多様な農業者に対する支援の必要性
- (2) 農業における環境負荷関係
  - ア 農業に起因する環境負荷の具体的内容
  - イ メタンを排出する水田はやめるべきかの確認
  - ウ 世界経済フォーラムで水田は有害という発言があったことに対する認識
  - エ 水田を守っていくことの確認
- (3) 中国への輸出関係
  - ア 牛肉の輸出再開に向けた交渉状況
  - イ 水産物の輸出再開に向けた交渉状況
- (4) 食料安全保障のため国内の生産基盤の確保に注力する必要性

#### 一谷勇一郎君（維教）

- (1) 農業労働力の確保関係
  - ア 新規就農者の数値目標
  - イ 令和5(2023)年度に40代以下の農業従事者を40万人に拡大するとの目標に対して令和4(2022)年実績が22万人であることの原因
- (2) 食料の輸入ができなくなると日本だけでなく輸出国の側も困るはずでありコミュニケーションをとる必要性
- (3) 食料・農業・農村基本法改正関係
  - ア 国主導でなく地方公共団体の参画する制度を増やす必要性
  - イ 法案の作成過程における技術系職員の関与
- (4) 適地適作の推進のための地方公共団体の重要性
- (5) 産地の先進的な取組を支援する必要性
- (6) ベテラン農業者の暗黙知であるノウハウをスマート農業に生かす必要性
- (7) 有機農業の成功事例の地図化及び共通の成功事例を示す重要性
- (8) 農業への新規参入者の参考となるよう平均的な粗利益を示す必要性
- (9) 食品産業の成長と競争力強化に向けた農林水産省と経済産業省の連携の必要性

#### 池畑浩太郎君（維教）

- (1) 適正な価格形成関係
  - ア 適正な価格形成の促進についての見解
  - イ 価格形成への関与も農業団体の役割であるか否かについての農林水産大臣の認識
- (2) 米の減反の廃止と畑地化促進の違いについての見解
- (3) ブロックローテーションの推進に当たって想定される地域
- (4) 森林の集積・集約に向けた所有者不明森林への対策
- (5) 林業における人材確保のための取組

- (6) 花粉発生源対策として伐採されるスギの利用方法
- (7) ALPS処理水の海洋放出に伴い日本産水産物の輸入停止を続ける国・地域との協議状況
- (8) 環境適応のための浮消波堤の全国展開を進める必要性

#### 田村貴昭君（共産）

- (1) 令和6年能登半島地震関係
  - ア 被災者の自己負担
  - イ 車両復旧の補助金関係
    - a 経済産業省の補助金を柔軟・弾力的に使えるようにする必要性
    - b 個別の相談による柔軟な対応の可能性
    - c 農林水産省による支援に軽トラックの買替えを追加する必要性
  - ウ 農林水産大臣の所信表明における「誠心誠意」の意味
- (2) 鳥インフルエンザ関係
  - ア 感染経路の研究における省庁縦割りを超えた協力の進捗状況
  - イ ハエについての実効ある対策の必要性
- (3) 食料・農業・農村基本法改正関係
  - ア 改正に関する議論がわずか一年であった理由
  - イ 輸入自由化が国内の農林水産業に与えた影響に対する検証にかけた時間
  - ウ パブリックコメントで多数指摘された種子に関する意見が改正案に反映されていない理由
  - エ 改正案の農業者や農地の減少に対する効果

#### 長友慎治君（国民）

- (1) 子どもの農林漁業体験関係
  - ア 子どもの農業体験に関する取組
  - イ 農林漁業体験に参加した子どもの感想
- (2) 食料供給困難事態関係
  - ア 生産者に対する罰則規定を設けた経緯及びむしろ生産意欲を高めるインセンティブを付与する必要性
  - イ 生産者に対するインセンティブの詳細
- (3) 地方応援隊関係
  - ア 令和6（2024）年度の市町村からの応募数
  - イ 効果があった事例及び解決を期待される課題
- (4) 農林水産省の若手職員による農村研修の経験が政策に生かされている状況
- (5) 料理マスターズの顕彰制度の成果及び達成目標

#### 北神圭朗君（有志）

##### 農地取得の許可関係

- ア 農業委員会による許可の取消しが所有権の移転に及ぼす法的効果
- イ 過去に許可を取り消した事例の有無
- ウ 農地の取得要件における周辺の地域との調和要件関係
  - a 日本語を話せない人は要件を満たさないという解釈の可否
  - b 許可に当たり言語力を重視する必要性
- エ 許可後に農業を行っていない状態の把握状況

オ 全国的な調査の必要性及び許可の取消権等について農業委員会に周知する必要性

2 特定農産加工業経営改善臨時措置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 50 号）

- ・坂本農林水産大臣から趣旨の説明を聴取しました。